

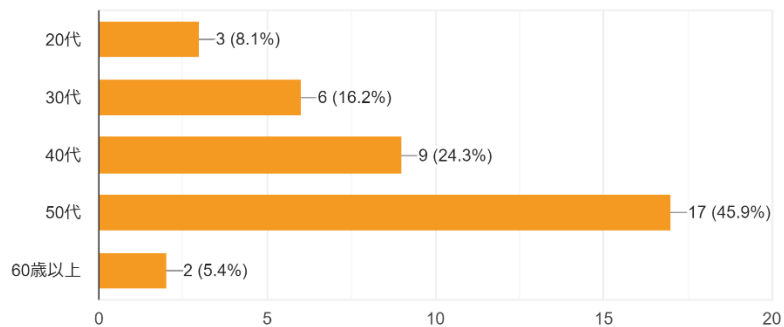
## 令和3年度第3回医療・介護合同研修会受講者アンケート結果

2022.1.17

「参加申し込み者53名のうち37名の方に回答頂きました」

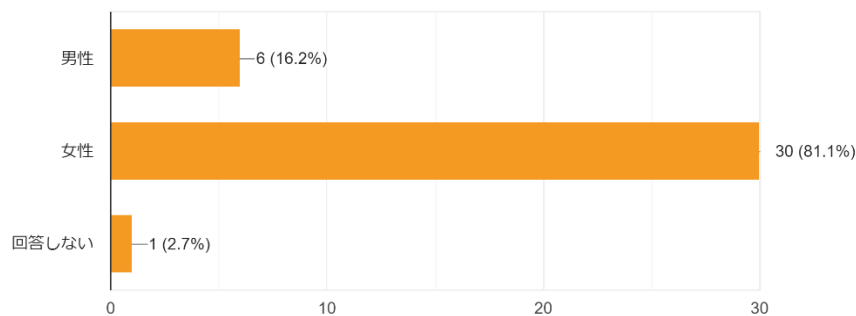
1.あなたの年齢について伺います。

37件の回答



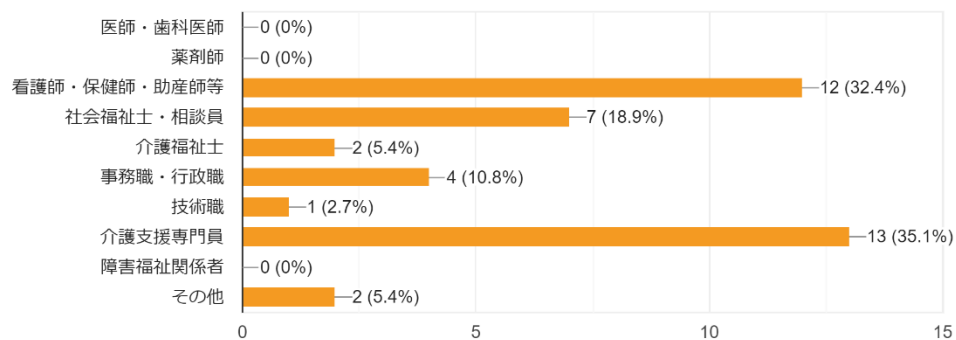
2.あなたの性別について伺います

37件の回答



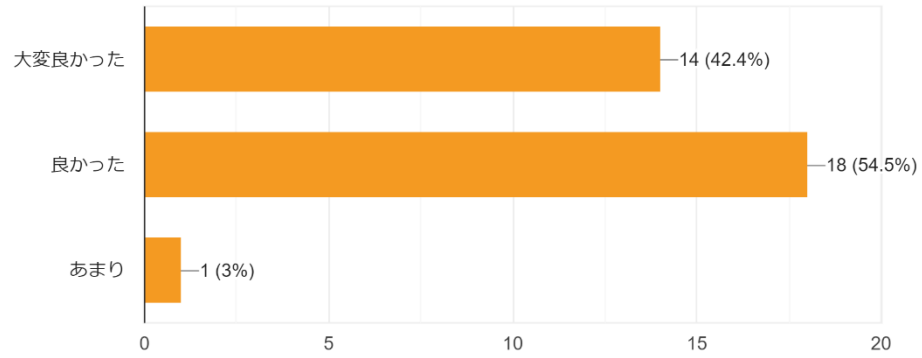
3.あなたの職業について伺います

37件の回答



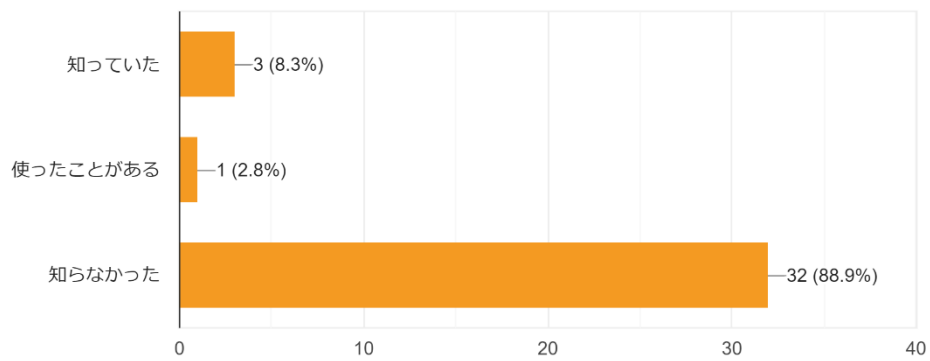
#### 4.研修全体について伺います

33件の回答



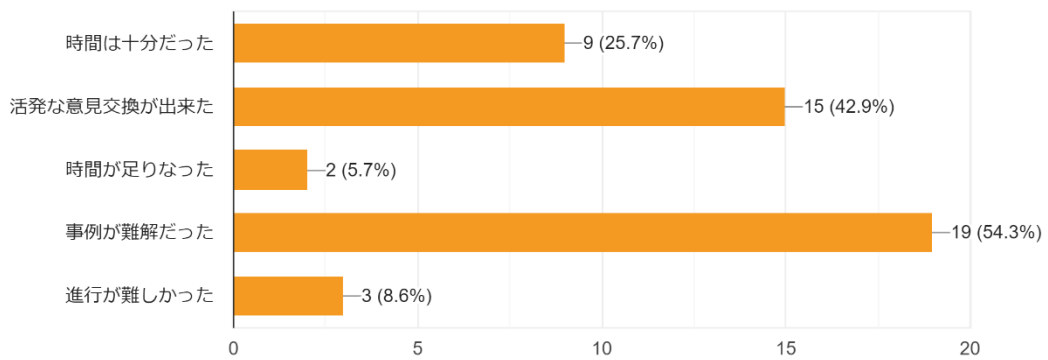
#### 5.旅のことはカードについて

36件の回答



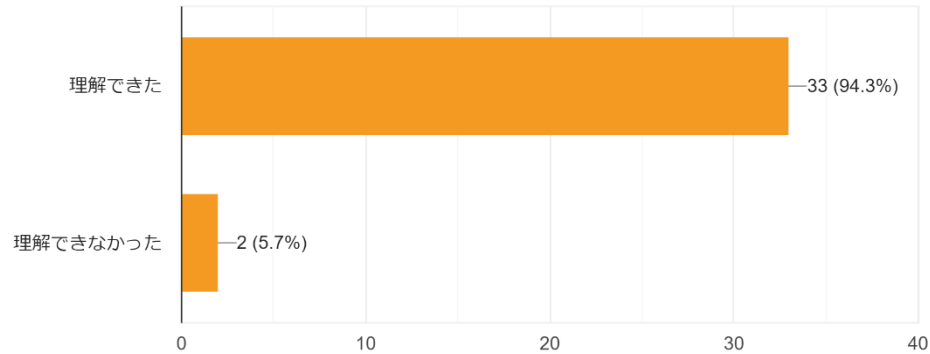
#### 6. グループワークについて

35件の回答



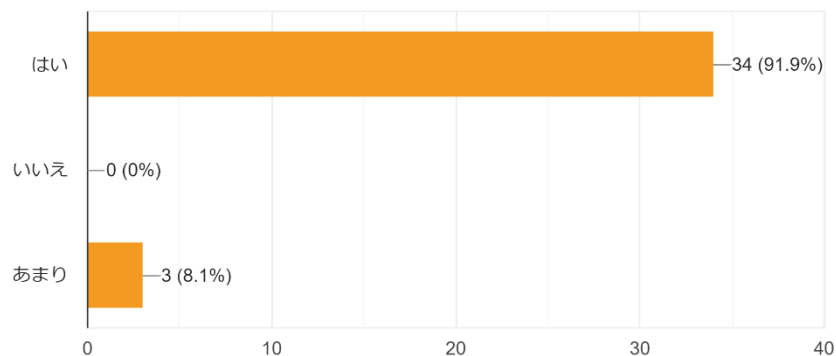
### 7.認知症に対する施策について

35件の回答



### 8.今日の研修は役立ちますか？

37件の回答



### 9.認知症や精神疾患の方が地域で安心して暮らしていくために必要な事は何ですか？

#### 信頼関係の構築

#### 地域の理解と社会資源、多職種連携

#### 理解と支援

医療・介護の関係者だけでなく地域住民含めすべての人の理解が必要になると思います。

理解を深めるための周知が必要

関係機関が密に連携し、適切なタイミングで介入することが大切だと思います。

行政、医療、介護、精神など関わるすべての方の連携

本人の意思を尊重しなければ、方策は見つからないことを実感した

本人のことを知ることが大事だと思います

難しいですが、地域の方の理解も必要なのかと思いました。

地域の方の理解、協力。協力しやすい環境、関係性が作れる機会

地域の方々の理解。関係機関が役割分担をして一人、一事業所で抱え込まずに支えること。支援者の横の繋がり。網目のようなケア。今回のケースは、介護保険で対応することに無理があると思います。地域の独自制作が必要。

地域の方が疾患や症状の理解を深められるよう、啓発を行ったり、認知症の対応を知ることが大切。

このような研修等を通じて支援者が多職種とつながること。

本人の理解、周囲の人のやさしさ

家族や周囲の人の理解をすることや、早期の対応をすることで本人や周囲の負担が軽減されていくと思う。

関わる方達の理解

その方との信頼関係。

本人の望む生活を第一に考え、それに寄り添った支援が必要。時には支援者側の妥協も大事だと思います。

症状が安定することと近隣の理解があること

関係機関の情報共有、地域住民の理解をいかに得ていくか

医療機関、介護関係、行政機関等の支援体制と、地域住民の方々の理解は必要だと思います。

本人理解

本人はわからないので、周囲(行政・ご近所など)の関わりが大事。

地域の方の理解

様々な人の繋がり

地域の中の多職種共同支援

地域で支える視点

多職種の連携

地域の理解と支援者のチーム力

多職種連携(いざというときに介入できる体制づくり)、地域の理解、焦らないこと(早く解決しようとせず本人との関係づくりを優先することが近道ではないでしょうか)

本人を理解しようと努力し、地域の多職種で協力しあう。

10 その他、感想・ご意見・ご要望等なんでもお書きください。

大変勉強になりました。それぞれの思いや役割が再認識できてよかったです。

残務により参加が遅れてしまい申し訳ございませんでした。参加された方に内容を確認し振り返りをしようと思います。

専門職の方の意見が聞けて、今後の対応の参考になりました。

大変勉強になりました

ありがとうございました。

ケース検討で、本人と関わっていない専門職の方の意見が聞けたのがすごく良かったです。

研修の度に自身の狭い視野が少し広がるような気がしています。ありがとうございました。

他のグループの話し声が入ってきて、グループ討議がやりにくかったです。

難しい事例でしたが、その一人の事を考える相手に向きあう事の大切さを再認識しました。大変いい時間でした。ありがとうございます。

難しい事例でしたが、今後に活かせるので勉強になりました。

アンケートへのご協力ありがとうございました。

文責：豊川市医師会在宅医療サポートセンター

柳生